

子育て環境向上や地域活性化...

延岡星雲高 2年生が課題研究発表会

延岡市の県立延岡星雲高校(池田功校長、536人)は3月24日、2年生が自ら定めたテーマについて、一学期の研究成果を披露する

「課題研究発表会」を開いた。同市キャリア教育支援センター(水正淑センター長)の協力で毎年行う探究型学習の一端で、課題研

究能力を養い、相互評価を通して視野を広げることなどが狙い。普通科、ノンキャリア料の2コースだが、地域活性化や快適な社会に向けたアイデアを発表した。

例年は1、2年生を体育館に集めて行うが、感染症対策のためオンラインで各教室をつなぎ実施。このうちフロンティア科の40人は「地域」「教育」「観光」「医療福祉」「社会」に

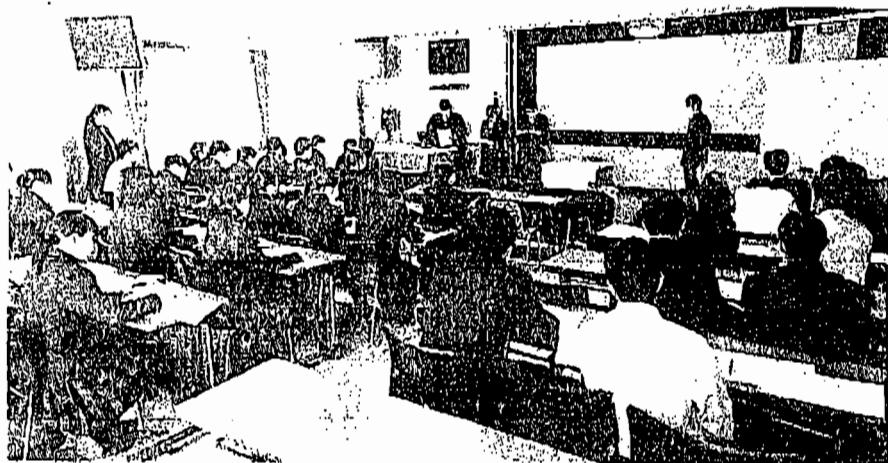
関する1テーマについてグループ発表に臨んだ。三宅優希菜さん(17)と前田紗季花さん(同)は2人で、同市の子育てに関する制度内容と子育てしやすさの相対性を研究した。

市、子育て支援センター(おおこの森(山月町)の協力で自作のアンケートを配り、延岡の育児環境に対する満足度を項目別にグラフ化。遊び場や施設の整備状況に比べ、交通の便や情報の得やすさに対する満足度が低いと分かった。

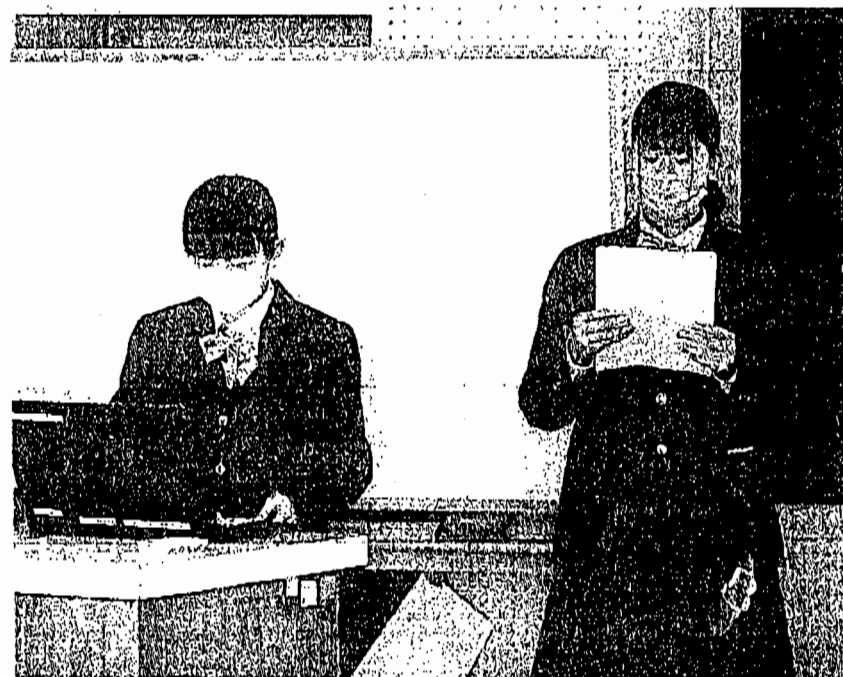
市へ行ったインタビュー結果も踏まえ、自分たちにてできる取り組みとして情報を一括発信しようと計画。市内各所で行われるイベント情報についてまとめたインスタグラム(写真共有アプリ)のアカウントを既に開設し、発信を続ける考えをきかせた。

メンター(助言者)として出席した旭化成人事部の権原一輝さん(23)は「全職員とまわっていったと思う。仮説を立てて考える力は社会で求められる重要な能力なので、今回の経験を大事にしてほしい」と総括した。

三宅・前田班は、15日にオンラインで開かれる県立高等学校課題研究発表会へ出場する。



延岡星雲高等学校 2022年3月24日撮影



県発表会に出場する三宅さん(左)と前田さん

(夕刊より新聞
2022.2.27)